

◎ 定例会「初詣の会」 1月6日（月） 薄曇り小雨のち晴れのち雨 参加者18名。

～ 明治神宮を参拝し、若人の渋谷で元気なシニアが大冒険 ～

若い人達が勤める会社では仕事初めの1月最初の月曜日、西武池袋線に20分ほど遅れが発生しましたが、朝9:30予定通り大江戸線練馬駅に、男性8名女性10名が集合し、新年の挨拶を交わし大江戸線で代々木駅に移動しました。

この日、初詣の参拝者日本一の明治神宮と、不慣れな渋谷をめぐるため、迷子対策に玄暉会伝統の旗が大活躍しました。更に予想される混雑に対処するため、井内幹事が用意した赤いリボン付の輪ゴムを全員で身につけました。1月入会された新入会員、岩田澄子さんもこれで安心です。



3本の旗の元、3班構成で10:20、代々木口から明治神宮に入ると、曇り空に少し青空が覗き、ひんやりした空気の北参道を歩いていくと、小鳥やカラスの鳴き声が神宮の森に響き渡っていました。玉砂利の参道を、誘導員の指示に従って日本一の木造の明神鳥居、大鳥居をくぐって正参道へ誘導され、そのまま進むと、南神門の手前、菊の御紋が黄金色に輝く鳥居が見えてきて、10:40、ここから横長に広がる参拝の列に並びました。チョット小雨模様になってきて、でも境内は明るい曇り空に照らされていました。



南神門をくぐると、誘導員が参拝の列を整理しながら停止、進行を整然と繰り返す、少しずつ本殿に近づきます。11:20、急に太陽が顔を出して来て、境内が暖かい陽射しに包まれ、参拝を待つ初詣の人々を明るく照らしてくれました。参拝は巨大な賽銭プールかと思ったら、本殿に向って石段を昇って賽銭箱まで行くことが出来て、後方に並び大勢の人の波を振り返って見ると、人また人の顔に圧倒される参拝者が押し寄せてきていました。浄財を賽銭箱に納め、今年一年の健康と幸運を祈願しました。混雑のない境内の一角で、本殿と参拝者の波をバックに集合写真を撮影し11:40、約1時間でお詣りを終え、JR原宿駅から1駅、JR渋谷駅に向かいました。

若人の街、渋谷では、都会派の感性が成熟した大人たちをターゲットにした「東急プラザ渋谷」を見学しました。エレベータで17階に昇ると「SHIBU NIWA（シブニワ）」のルーフトップガーデンから、正面に「渋谷スクランブルスクエア」、その左手に新宿の高層ビル群が見渡せました。5階～7階がレストランフロアです。玄暉会の旗を掲げたシニアがフロアをキョロキョロ見ながら一周していると、館内の若者がビックリした眼で見っていました。この日は6階に並び10店舗以上の食事処で、鉄板焼き、手打ちそば、とんかつ店、鹿児島料理、黒毛和牛バル等々に、小グループに分れてランチタイムを楽しみました。私が入った鹿児島料理の店から窓の外に目をやると、首都高が走るビルの景色とクレーンが立ち並び渋谷の街が目の前に迫ってきていました。約60分ゆっくりランチタイムを楽しみ、階下のショッピングフロアを見て歩きました。シニア向けの4階には聴力チェックができるヒアリングケアセンターがありました。2階のデジタル美術館はバンクシー展を開催中で、料金は300円ですが、ネットで事前予約が必要で、スマホが出来ない高齢者は入館出来ない仕組みでした。



次の見学先は大工事中のビル群の谷間の横断歩道を渡って、JR高架線の下を歩いて、5年前に開業した「渋谷スクランブルスクエア」に入りました。

2階～11階の若い大人のショッピングフロアを、次回のショッピングに備えた下見の積もりで。エスカレーターに乗ったまま只々昇って見学しました。11階で降り、12階に向って玄暉会メンバーが連れだって進んでいくと、若い女子が気になる様子でチラチラ見つめていていました。12階の展望フロアで眺望を楽しんだ後は12階、13階のチョット高級で若者客ばかりのレストランを見て歩き、14階のシブヤスカイチケットカウンターに到着。ここは地上46階～屋上に広がるシブヤスカイの入口で、料金は2200円ですが、ネットで利用日と利用時間を指定してチケット購入が必要で、発行されるQRコードで入場します。子供チケットは窓口



で販売していますが、大人チケットはネット優先で売り切れてしまうので、スマホが出来ない高齢者は入場出来ない仕組みでした。

渋谷では、普段ここは何処だか判らない街を玄暉会の旗の元ご案内しましたが、ランチタイムに飲んだハイボール2杯で迷いが消え、堂々と旗を掲げて歩くことが出来ました。

明治神宮では参拝に1時間掛かりましたが、3本の旗を掲げて3班に分かれて新年の話題や日頃の話題に花が咲き、渋谷のランチでは好みのお店でそれぞれ小グループで話が弾み、渋谷で15:00頃、楽しかった初詣の会を無事終了しました。

＜1月定例会 報告：宇敷辰男＞